

結果の概要

I 世帯数と世帯人員数の状況

1 世帯構造及び世帯類型の状況

平成26年6月5日現在における全国の世帯総数は5043万1千世帯となっている。

世帯構造をみると、「夫婦と未婚の子のみの世帯」が1454万6千世帯（全世帯の28.8%）で最も多く、次いで「単独世帯」が1366万2千世帯（同27.1%）、「夫婦のみの世帯」が1174万8千世帯（同23.3%）となっている。

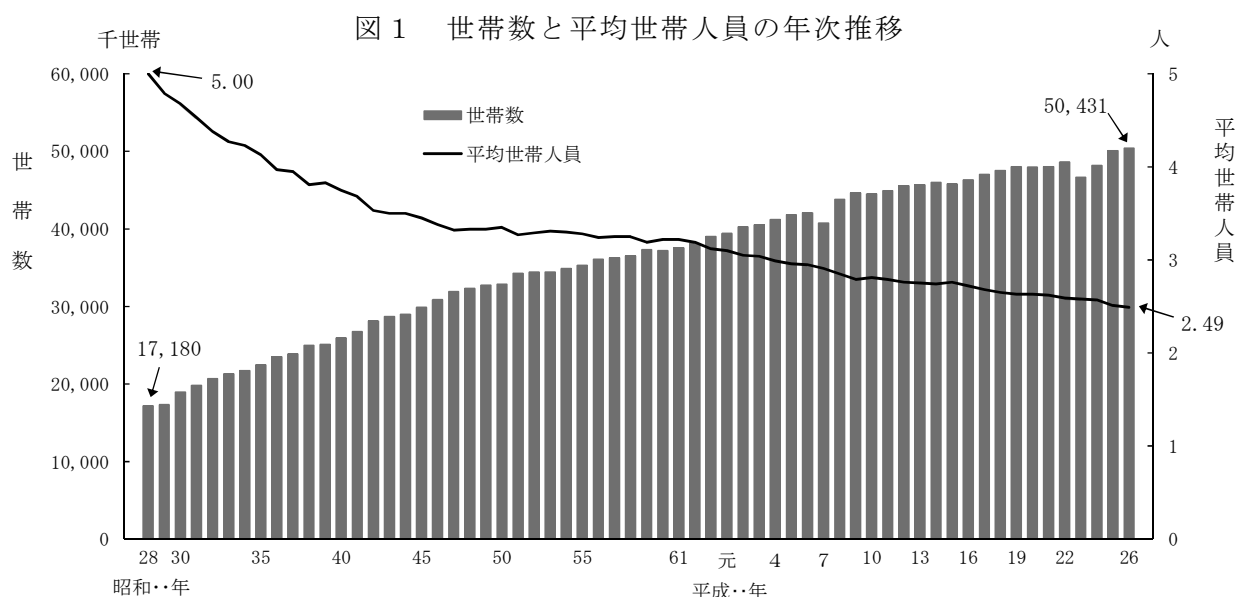
世帯類型をみると、「高齢者世帯」は1221万4千世帯（全世帯の24.2%）で、年次推移をみると増加傾向となっている。

平均世帯人員は2.49人で、年次推移をみると減少傾向となっている。（表1、図1）

表1 世帯構造別、世帯類型別世帯数及び平均世帯人員の年次推移

年次	総数	世帯構造						世帯類型				平均世帯人員
		単独世帯	夫婦のみの世帯	夫婦と未婚の子のみの世帯	ひとり親と未婚の子のみの世帯	三世帯	その他の世帯	高齢者世帯	母子世帯	父子世帯	その他の世帯	
推計数（単位：千世帯）												
昭和61年	37 544	6 826	5 401	15 525	1 908	5 757	2 127	2 362	600	115	34 468	3.22
平成元年	39 417	7 866	6 322	15 478	1 985	5 599	2 166	3 057	554	100	35 707	3.10
4	41 210	8 974	7 071	15 247	1 998	5 390	2 529	3 688	480	86	36 957	2.99
7	40 770	9 213	7 488	14 398	2 112	5 082	2 478	4 390	483	84	35 812	2.91
10	44 496	10 627	8 781	14 951	2 364	5 125	2 648	5 614	502	78	38 302	2.81
13	45 664	11 017	9 403	14 872	2 618	4 844	2 909	6 654	587	80	38 343	2.75
16	46 323	10 817	10 161	15 125	2 774	4 512	2 934	7 874	627	90	37 732	2.72
19	48 023	11 983	10 636	15 015	3 006	4 045	3 337	9 009	717	100	38 197	2.63
22	48 638	12 386	10 994	14 922	3 180	3 835	3 320	10 207	708	77	37 646	2.59
25	50 112	13 285	11 644	14 899	3 621	3 329	3 334	11 614	821	91	37 586	2.51
26	50 431	13 662	11 748	14 546	3 576	3 464	3 435	12 214	732	101	37 384	2.49
構成割合（単位：%）												
昭和61年	100.0	18.2	14.4	41.4	5.1	15.3	5.7	6.3	1.6	0.3	91.8	・
平成元年	100.0	20.0	16.0	39.3	5.0	14.2	5.5	7.8	1.4	0.3	90.6	・
4	100.0	21.8	17.2	37.0	4.8	13.1	6.1	8.9	1.2	0.2	89.7	・
7	100.0	22.6	18.4	35.3	5.2	12.5	6.1	10.8	1.2	0.2	87.8	・
10	100.0	23.9	19.7	33.6	5.3	11.5	6.0	12.6	1.1	0.2	86.1	・
13	100.0	24.1	20.6	32.6	5.7	10.6	6.4	14.6	1.3	0.2	84.0	・
16	100.0	23.4	21.9	32.7	6.0	9.7	6.3	17.0	1.4	0.2	81.5	・
19	100.0	25.0	22.1	31.3	6.3	8.4	6.9	18.8	1.5	0.2	79.5	・
22	100.0	25.5	22.6	30.7	6.5	7.9	6.8	21.0	1.5	0.2	77.4	・
25	100.0	26.5	23.2	29.7	7.2	6.6	6.7	23.2	1.6	0.2	75.0	・
26	100.0	27.1	23.3	28.8	7.1	6.9	6.8	24.2	1.5	0.2	74.1	・

注：平成7年の数値は、兵庫県を除いたものである。



注：1) 平成7年の数値は、兵庫県を除いたものである。
 2) 平成23年の数値は、岩手県、宮城県及び福島県を除いたものである。
 3) 平成24年の数値は、福島県を除いたものである。

2 65歳以上の者のいる世帯の状況

65歳以上の者のいる世帯は2357万2千世帯（全世帯の46.7%）となっている。

世帯構造をみると、「夫婦のみの世帯」が724万2千世帯（65歳以上の者のいる世帯の30.7%）で最も多く、次いで「単独世帯」が595万9千世帯（同25.3%）、「親と未婚の子のみの世帯」が474万3千世帯（同20.1%）となっている。（表2、図2）

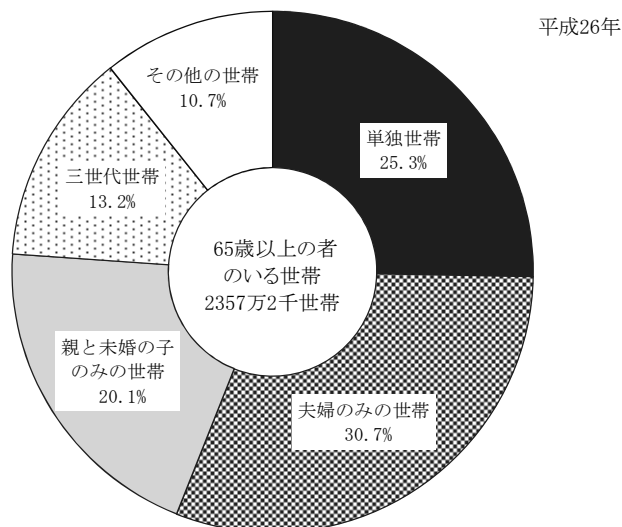
表2 65歳以上の者のいる世帯の世帯構造の年次推移

年次	65歳以上の者のいる世帯	全世帯に占める割合(%)	単独世帯	夫婦のみの世帯	親と未婚の子のみの世帯	三世代世帯	その他の世帯	(再掲) 65歳以上の者のみの世帯
推 計 数 (単位：千世帯)								
昭和61年	9 769	(26.0)	1 281	1 782	1 086	4 375	1 245	2 339
平成元年	10 774	(27.3)	1 592	2 257	1 260	4 385	1 280	3 035
4	11 884	(28.8)	1 865	2 706	1 439	4 348	1 527	3 666
7	12 695	(31.1)	2 199	3 075	1 636	4 232	1 553	4 370
10	14 822	(33.3)	2 724	3 956	2 025	4 401	1 715	5 597
13	16 367	(35.8)	3 179	4 545	2 563	4 179	1 902	6 636
16	17 864	(38.6)	3 730	5 252	2 931	3 919	2 031	7 855
19	19 263	(40.1)	4 326	5 732	3 418	3 528	2 260	8 986
22	20 705	(42.6)	5 018	6 190	3 836	3 348	2 313	10 188
25	22 420	(44.7)	5 730	6 974	4 442	2 953	2 321	11 594
26	23 572	(46.7)	5 959	7 242	4 743	3 117	2 512	12 193
構 成 割 合 (単位：%)								
昭和61年	100.0	・	13.1	18.2	11.1	44.8	12.7	23.9
平成元年	100.0	・	14.8	20.9	11.7	40.7	11.9	28.2
4	100.0	・	15.7	22.8	12.1	36.6	12.8	30.8
7	100.0	・	17.3	24.2	12.9	33.3	12.2	34.4
10	100.0	・	18.4	26.7	13.7	29.7	11.6	37.8
13	100.0	・	19.4	27.8	15.7	25.5	11.6	40.5
16	100.0	・	20.9	29.4	16.4	21.9	11.4	44.0
19	100.0	・	22.5	29.8	17.7	18.3	11.7	46.6
22	100.0	・	24.2	29.9	18.5	16.2	11.2	49.2
25	100.0	・	25.6	31.1	19.8	13.2	10.4	51.7
26	100.0	・	25.3	30.7	20.1	13.2	10.7	51.7

注：1) 平成7年の数値は、兵庫県を除いたものである。

2) 「親と未婚の子のみの世帯」とは、「夫婦と未婚の子のみの世帯」及び「ひとり親と未婚の子のみの世帯」をいう。

図2 65歳以上の者のいる世帯の世帯構造



注：「親と未婚の子のみの世帯」とは、「夫婦と未婚の子のみの世帯」及び「ひとり親と未婚の子のみの世帯」をいう。

65歳以上の者のいる世帯のうち、高齢者世帯の世帯構造をみると、「単独世帯」が595万9千世帯（高齢者世帯の48.8%）、「夫婦のみの世帯」が580万1千世帯（同47.5%）となっている（表3、図3）。

「単独世帯」をみると男は32.0%、女は68.0%となっている。

性別に年齢構成をみると、男は「65～69歳」が33.5%、女は「70～74歳」が22.6%で最も多くなっている（図4）。

表3 高齢者世帯の世帯構造の年次推移

年次	高齢者世帯	単独世帯		夫婦のみの世帯	その他の世帯
		推計	数		
(単位：千世帯)					
昭和61年	2 362	1 281	246	1 035	80
平成元年	3 057	1 592	307	1 285	88
4	3 688	1 865	348	1 517	119
7	4 390	2 199	449	1 751	141
10	5 614	2 724	555	2 169	178
13	6 654	3 179	728	2 451	218
16	7 874	3 730	906	2 824	245
19	9 009	4 326	1 174	3 153	292
22	10 207	5 018	1 420	3 598	313
25	11 614	5 730	1 659	4 071	371
26	12 214	5 959	1 909	4 049	455
(単位：%)					
昭和61年	100.0	54.2	10.4	43.8	3.4
平成元年	100.0	52.1	10.0	42.0	2.9
4	100.0	50.6	9.4	41.1	3.2
7	100.0	50.1	10.2	39.9	3.2
10	100.0	48.5	9.9	38.6	3.2
13	100.0	47.8	10.9	36.8	3.3
16	100.0	47.4	11.5	35.9	3.1
19	100.0	48.0	13.0	35.0	3.2
22	100.0	49.2	13.9	35.3	3.1
25	100.0	49.3	14.3	35.1	3.2
26	100.0	48.8	15.6	33.2	3.7

注：1)平成7年の数値は、兵庫県を除いたものである。

2)「その他の世帯」には、「親と未婚の子のみの世帯」及び「三世帯世帯」を含む。

図3 高齢者世帯の世帯構造

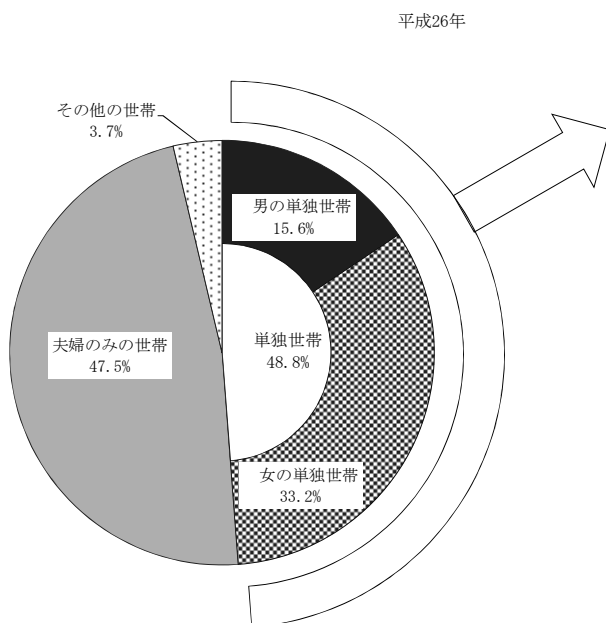
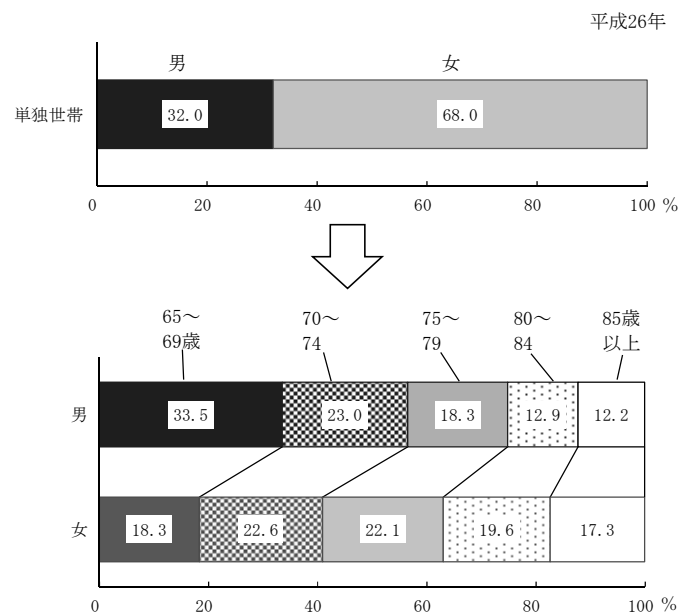


図4 65歳以上の単独世帯の性・年齢構成



注：「その他の世帯」には、「親と未婚の子のみの世帯」及び「三世帯世帯」を含む。

3 65歳以上の者の状況

65歳以上の者は3432万6千人となっている。

家族形態をみると、「子と同居」の者が1394万1千人（65歳以上の者の40.6%）で最も多く、次いで「夫婦のみの世帯」（夫婦の両方又は一方が65歳以上）の者が1304万3千人（同38.0%）、「単独世帯」の者が595万9千人（同17.4%）となっている。

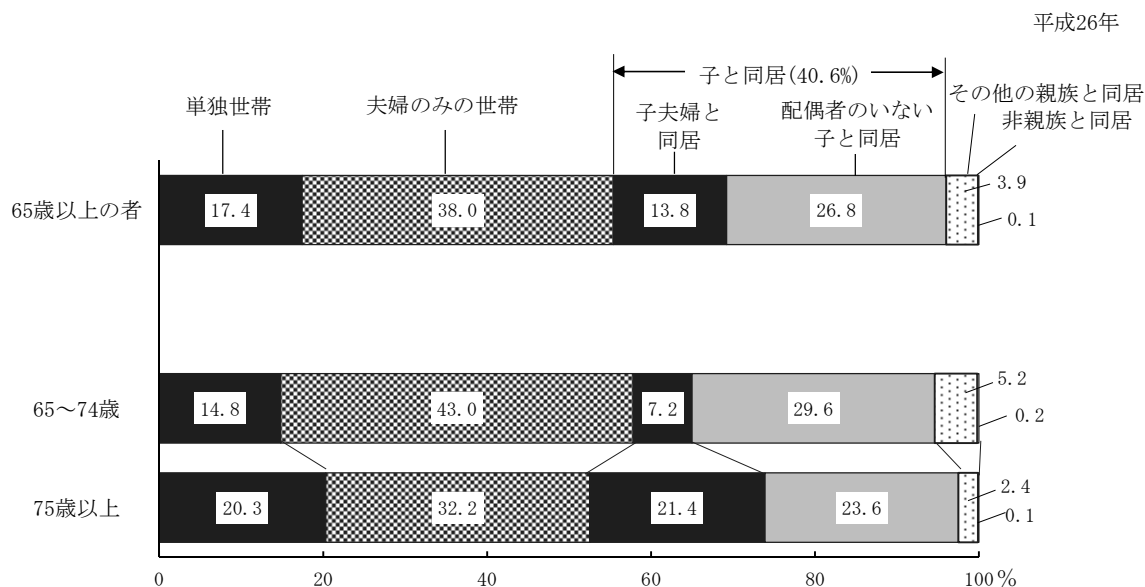
年齢階級別に家族形態をみると、「75歳以上」の者は「65～74歳」の者に比べ、「単独世帯」及び「子夫婦と同居」の割合が高くなっている。（表4、図5）

表4 65歳以上の者の家族形態の年次推移

年次	65歳以上の者	単独世帯	夫婦のみの世帯	子と同居	子夫婦と同居		配偶者のいない子と同居	その他の親族と同居	非親族と同居
					子夫婦と同居	配偶者のいない子と同居			
推 計 数 (単位：千人)									
昭和61年	12 626	1 281	2 784	8 116	5 897	2 219	409	37	
平成元年	14 239	1 592	3 634	8 539	6 016	2 524	445	29	
4	15 986	1 865	4 410	9 122	6 188	2 934	549	41	
7	17 449	2 199	5 125	9 483	6 192	3 291	611	31	
10	20 620	2 724	6 669	10 374	6 443	3 931	816	36	
13	23 073	3 179	7 802	11 173	6 332	4 841	878	41	
16	25 424	3 730	9 151	11 571	5 995	5 576	916	55	
19	27 584	4 326	10 122	12 034	5 406	6 629	1 056	45	
22	29 768	5 018	11 065	12 577	5 203	7 374	1 081	27	
25	32 394	5 730	12 487	12 950	4 498	8 452	1 193	33	
26	34 326	5 959	13 043	13 941	4 728	9 213	1 339	44	
構 成 割 合 (単位：%)									
昭和61年	100.0	10.1	22.0	64.3	46.7	17.6	3.2	0.3	
平成元年	100.0	11.2	25.5	60.0	42.2	17.7	3.1	0.2	
4	100.0	11.7	27.6	57.1	38.7	18.4	3.4	0.3	
7	100.0	12.6	29.4	54.3	35.5	18.9	3.5	0.2	
10	100.0	13.2	32.3	50.3	31.2	19.1	4.0	0.2	
13	100.0	13.8	33.8	48.4	27.4	21.0	3.8	0.2	
16	100.0	14.7	36.0	45.5	23.6	21.9	3.6	0.2	
19	100.0	15.7	36.7	43.6	19.6	24.0	3.8	0.2	
22	100.0	16.9	37.2	42.2	17.5	24.8	3.6	0.1	
25	100.0	17.7	38.5	40.0	13.9	26.1	3.7	0.1	
26	100.0	17.4	38.0	40.6	13.8	26.8	3.9	0.1	

注：平成7年の数値は、兵庫県を除いたものである。

図5 年齢階級別にみた65歳以上の者の家族形態



4 児童のいる世帯の状況

児童のいる世帯は1141万1千世帯で全世帯の22.6%となっており、児童が「1人」いる世帯は529万3千世帯（全世帯の10.5%、児童のいる世帯の46.4%）、「2人」いる世帯は462万1千世帯（全世帯の9.2%、児童のいる世帯の40.5%）となっており、年次推移をみると減少傾向となっている。

また、平均児童数は1.69人で年次推移をみると減少傾向となっている。（表5、図6、図7）

世帯構造をみると、「夫婦と未婚の子のみの世帯」が816万5千世帯（児童のいる世帯の71.6%）で最も多く、次いで「三世帯世帯」が199万2千世帯（同17.5%）となっている（表5、図8）。

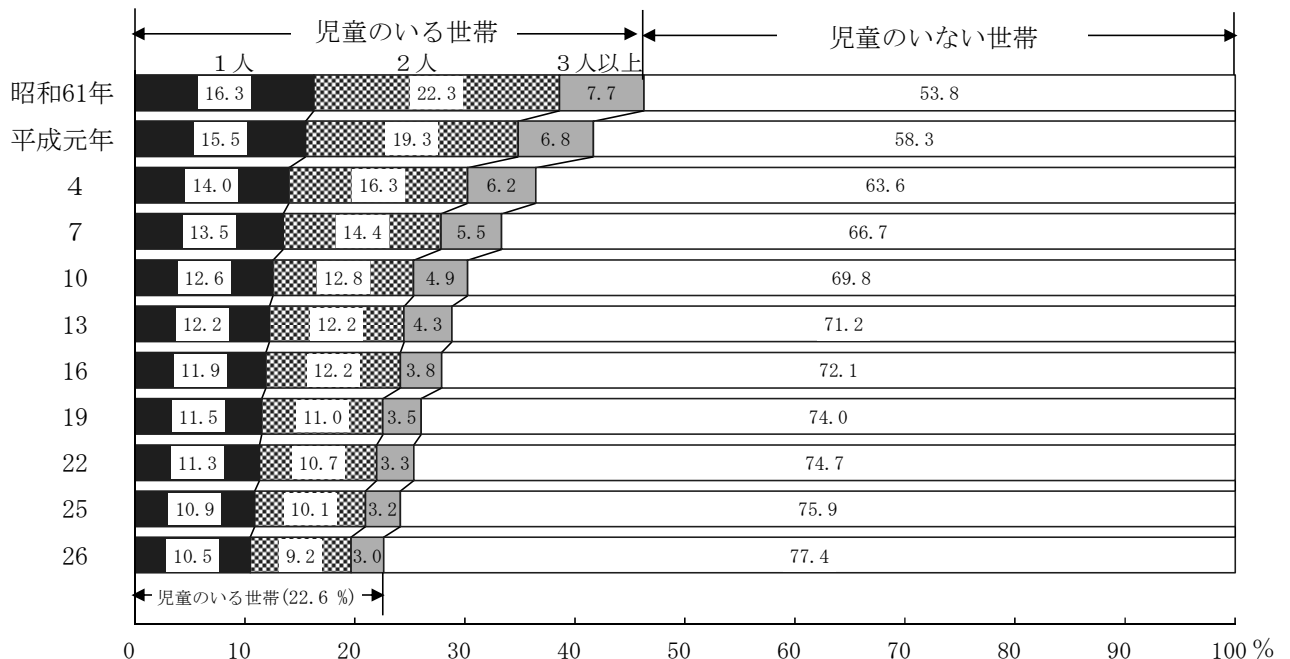
表5 児童数別、世帯構造別児童のいる世帯数及び平均児童数の年次推移

年次	児童のいる世帯	全世帯に占める割合(%)	児童数			世帯構造					児童のいる世帯の平均児童数
			1人	2人	3人以上	核家族世帯	夫婦と未婚の子のみの世帯	ひとり親と未婚の子のみの世帯	三世帯世帯	その他の世帯	
推計数 (単位：千世帯)											
昭和61年	17 364	(46.2)	6 107	8 381	2 877	12 080	11 359	722	4 688	596	1.83
平成元年	16 426	(41.7)	6 119	7 612	2 695	11 419	10 742	677	4 415	592	1.81
4	15 009	(36.4)	5 772	6 697	2 540	10 371	9 800	571	4 087	551	1.80
7	13 586	(33.3)	5 495	5 854	2 237	9 419	8 840	580	3 658	509	1.78
10	13 453	(30.2)	5 588	5 679	2 185	9 420	8 820	600	3 548	485	1.77
13	13 156	(28.8)	5 581	5 594	1 981	9 368	8 701	667	3 255	534	1.75
16	12 916	(27.9)	5 510	5 667	1 739	9 589	8 851	738	2 902	425	1.73
19	12 499	(26.0)	5 544	5 284	1 671	9 489	8 645	844	2 498	511	1.71
22	12 324	(25.3)	5 514	5 181	1 628	9 483	8 669	813	2 320	521	1.70
25	12 085	(24.1)	5 457	5 048	1 580	9 618	8 707	912	1 965	503	1.70
26	11 411	(22.6)	5 293	4 621	1 497	9 013	8 165	848	1 992	405	1.69
構成割合 (単位：%)											
昭和61年	100.0	•	35.2	48.3	16.6	69.6	65.4	4.2	27.0	3.4	•
平成元年	100.0	•	37.2	46.3	16.4	69.5	65.4	4.1	26.9	3.6	•
4	100.0	•	38.5	44.6	16.9	69.1	65.3	3.8	27.2	3.7	•
7	100.0	•	40.4	43.1	16.5	69.3	65.1	4.3	26.9	3.7	•
10	100.0	•	41.5	42.2	16.2	70.0	65.6	4.5	26.4	3.6	•
13	100.0	•	42.4	42.5	15.1	71.2	66.1	5.1	24.7	4.1	•
16	100.0	•	42.7	43.9	13.5	74.2	68.5	5.7	22.5	3.3	•
19	100.0	•	44.4	42.3	13.4	75.9	69.2	6.8	20.0	4.1	•
22	100.0	•	44.7	42.0	13.2	76.9	70.3	6.6	18.8	4.2	•
25	100.0	•	45.2	41.8	13.1	79.6	72.0	7.5	16.3	4.2	•
26	100.0	•	46.4	40.5	13.1	79.0	71.6	7.4	17.5	3.6	•

注：1)平成7年の数値は、兵庫県を除いたものである。

2)「その他の世帯」には、「単身世帯」を含む。

図6 児童の有（児童数）無の年次推移



注：平成7年の数値は、兵庫県を除いたものである。

図7 児童のいる世帯の児童数

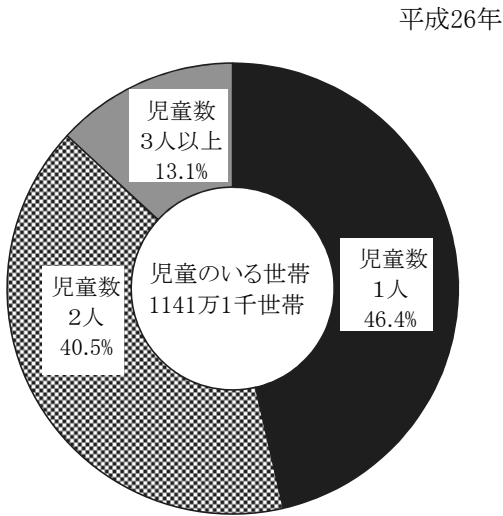
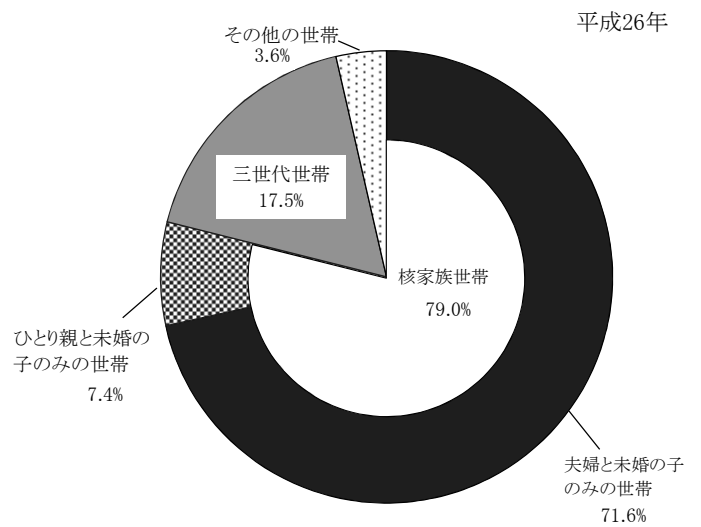


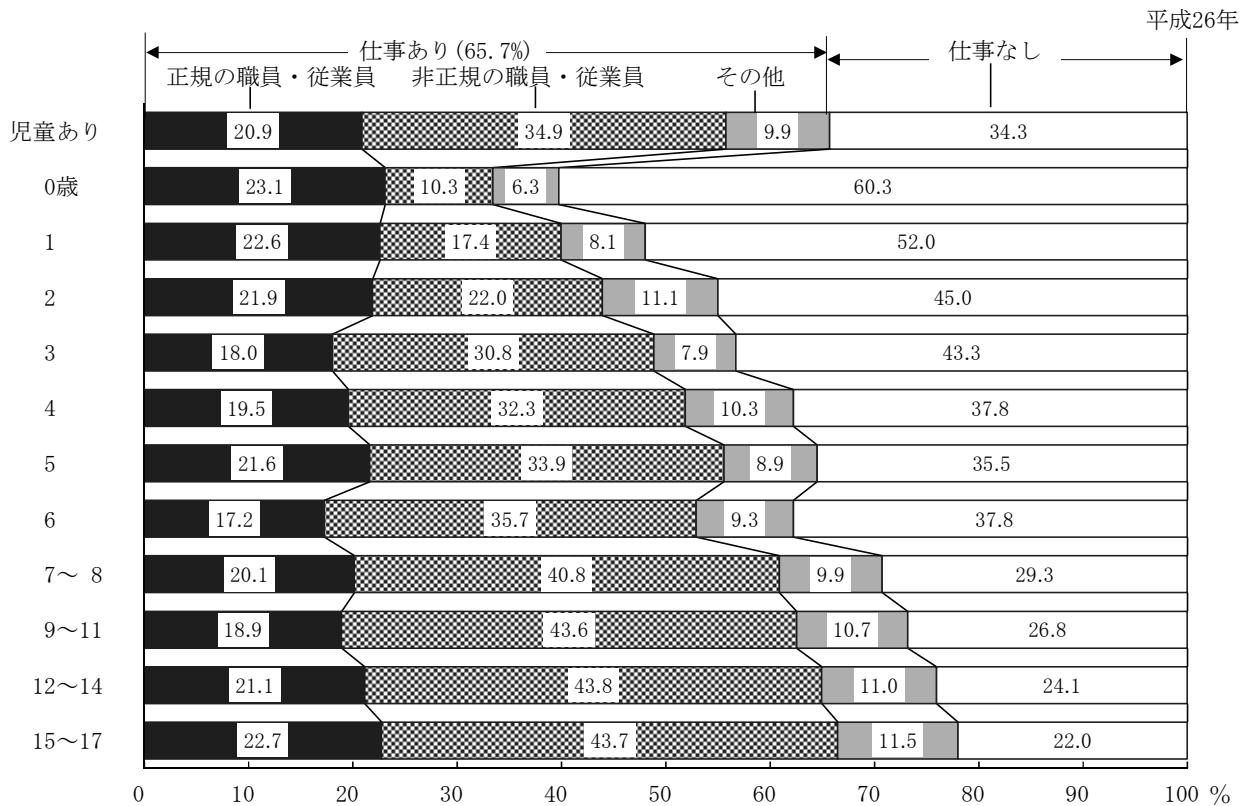
図8 児童のいる世帯の世帯構造



注：「その他の世帯」には、「単独世帯」を含む。

児童のいる世帯における母の仕事の有無をみると、「仕事あり」は65.7%となっている。末子の年齢階級別にみると、末子の年齢が高くなるにしたがって「非正規の職員・従業員」の母の割合が高くなる傾向にある。（図9）

図9 末子の年齢階級別にみた母の仕事の状況



注：1) 「仕事の有無不詳」を含まない。

2) 「その他」には、会社・団体等の役員、自営業主、家族従業者、内職、その他、勤めか自営か不詳及び勤め先での呼称不詳を含む。

5 15歳以上の者の就業の状況

男の15歳以上の者の就業の状況をみると、「仕事あり」が69.9%となっており、「正規の職員・従業員」が41.1%、「非正規の職員・従業員」が11.7%となっている。

年齢階級別にみると、「仕事あり」は「25～29歳」から「55～59歳」までが9割を超える台形型となっており、「正規の職員・従業員」は「25～29歳」から「50～54歳」までが6割を超えている。

女の15歳以上の者の就業の状況をみると、「仕事あり」が49.3%となっており、「正規の職員・従業員」が16.8%、「非正規の職員・従業員」が22.3%となっている。

年齢階級別にみると、「仕事あり」は「35～39歳」を谷とするM字型となっており、「正規の職員・従業員」の割合は「20～24歳」から「30～34歳」までが3割を超え「非正規の職員・従業員」を上回っているが、それ以外の年齢階級では、「非正規の職員・従業員」が「正規の職員・従業員」を上回っている。（表6、図10）

表6 性・年齢階級別にみた15歳以上の者の就業の状況

（単位：％）

平成26年

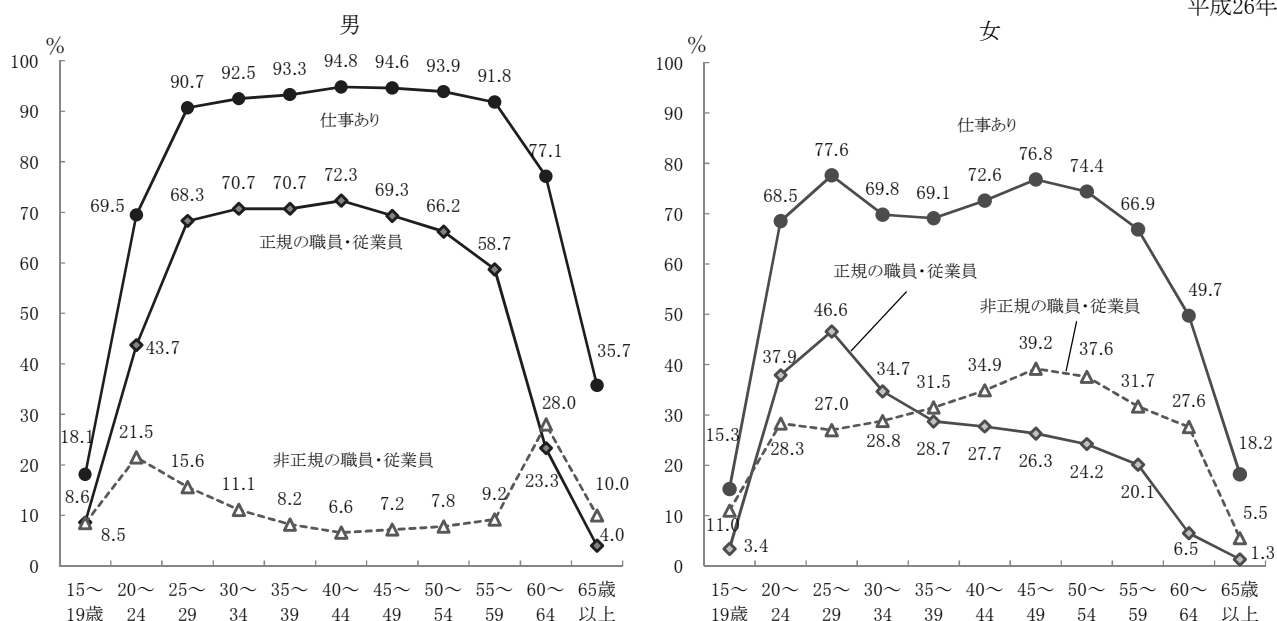
年齢階級	男						女					
	総数	仕事あり	正規の職員・従業員	非正規の職員・従業員	その他	仕事なし	総数	仕事あり	正規の職員・従業員	非正規の職員・従業員	その他	仕事なし
総数	100.0	69.9	41.1	11.7	17.2	30.1	100.0	49.3	16.8	22.3	10.2	50.7
15～19歳	100.0	18.1	8.6	8.5	1.0	81.9	100.0	15.3	3.4	11.0	0.9	84.7
20～24	100.0	69.5	43.7	21.5	4.4	30.5	100.0	68.5	37.9	28.3	2.3	31.5
25～29	100.0	90.7	68.3	15.6	6.8	9.3	100.0	77.6	46.6	27.0	4.0	22.4
30～34	100.0	92.5	70.7	11.1	10.7	7.5	100.0	69.8	34.7	28.8	6.3	30.2
35～39	100.0	93.3	70.7	8.2	14.4	6.7	100.0	69.1	28.7	31.5	8.9	30.9
40～44	100.0	94.8	72.3	6.6	15.9	5.2	100.0	72.6	27.7	34.9	10.0	27.4
45～49	100.0	94.6	69.3	7.2	18.2	5.4	100.0	76.8	26.3	39.2	11.4	23.2
50～54	100.0	93.9	66.2	7.8	19.9	6.1	100.0	74.4	24.2	37.6	12.6	25.6
55～59	100.0	91.8	58.7	9.2	23.9	8.2	100.0	66.9	20.1	31.7	15.1	33.1
60～64	100.0	77.1	23.3	28.0	25.7	22.9	100.0	49.7	6.5	27.6	15.6	50.3
65歳以上	100.0	35.7	4.0	10.0	21.7	64.3	100.0	18.2	1.3	5.5	11.3	81.8

注：1）「総数」には、「仕事の有無不詳」を含まない。

2）「その他」には、会社・団体等の役員、自営業主、家族従業者、内職、その他、勤めか自営か不詳及び勤め先での呼称不詳を含む。

図10 性・年齢階級別にみた15歳以上の者の就業状況

平成26年



注：「仕事の有無不詳」を含まない。